

2017年度 関西学生ヨット夏季選手権大会

大会期日 : 平成29年9月1日(金曜日)～平成29年9月3日(日曜日)
 開催地 : 新西宮ヨットハーバー (〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-16-1)
 共同主催 : 関西学生ヨット連盟、兵庫県セーリング連盟
 協力 : 新西宮ヨットハーバー株式会社

本大会は、各個人(各艇)によるレース(以下個人戦という)をベースに、1チーム3艇によるクラス別のフリート・レース(以下団体戦という)を同一海面、同一スタートで開催し、表彰のみが分かれるものとします。個人戦では各個人(各艇)を表彰し、団体戦では、個人戦の成績を基にチーム単位でチーム得点を算出し、各チームを表彰します。

レース公示

1. 規則

- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。
- 1.2 『関西学生ヨット連盟規約』、『470学連申し合わせ事項』、『スナイプ級学連申し合わせ事項(ただし、スナイプ級学連申し合わせ事項I.2は適用しない)』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3 付則Dは適用しない。
- 1.4 【DP】はプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
- 1.5 規則40『個人用浮揚用具』を次のとおりとする。
 - (a) 【DP】次のように変更する。

『水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に変えたり整えたりする場合を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。この項は規則第4章前文を変更している。』
 - (b) 国際スナイプ級規則「制限規定」52.14に次を追加する。

『個人用浮揚用具には、「制限規定」52.14にかかわらず、浮力40N以上の個人用浮揚用具も含める。』
- 1.6 規則60.1(b)に以下を追加する。

『ただし、団体戦に登録している艇は、自チームの他艇から受けた損傷又は傷害に基づいて救済要求を行うことはできない。』
- 1.7 国際470級クラス規則を次のように変更する。
 - (a) 『マストの上部に浮力体を付けることを認める。』
 - (b) 『メイン・セールとスピナーカのセール番号が同一でなくても良い。』
 - (c) 『正規以外のセール番号の使用も認める。ただし、複数の艇で同一のセール番号を用いてはならない。』
- 1.8 国際スナイプ級クラス規則を次のように変更する。
 - (a) 『マストの上部に浮力体を付けることを認める。』
 - (b) 『正規以外のセール番号の使用も認める。ただし、複数の艇で同一のセール番号を用いてはならない。』
- 1.9 次の規則を追加する。

『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第2章の規則違反に対してのペナルティーはないものとする。』

2. 競技種目 国際470級、国際スナイプ級

3. 【DP】参加資格及び申込み

3.1 参加資格

- (1) 競技者は、次の項目を満たしていなければならない。
 - (a) 関西学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。

関西学生ヨット連盟規約：第6条 連盟主催、主管及び公認ヨット競技の出場資格は、以下のとおりとする。

 - (1) 加盟大学に学籍のある者。ただし、通信教育部生は除く。
 - (2) 出場可能年数は入学時より4年間とする。
 - (b) 2017年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 - (c) スポーツ安全保険に加入していること。
 - (d) 国際470級の競技者は日本470協会の2017年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
 - (e) 国際スナイプ級の競技者は、2017年度日本スナイプ協会会員であること。
- (2) 3.1(1)(a)に該当しない者で、次の条件を満たしかつレース委員会が承認した場合、その競技者を含む艇は、オープン参加艇として参加を認める。
 - (a) 2017年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 - (b) 最低3000万円又は同等の有効な第三者賠償責任保険に加入していること。
 - (c) 該当するクラスの2017年度協会会員であること。

- (3) 艇の監督及びコーチは、2017年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 (4) 支援艇・応援艇の艇長は、2017年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 (5) 艇の乗員は1艇につき2名とし、水上で乗員交替をする場合は、届出た艇(所属する大学)の支援艇等を利用すること。
 なお、主催団体では、乗員交替用の舟艇は準備しない。

3.2 参加申込

- (1) 個人戦への申込み(オープン参加艇も同様の手続きを行うこと。)
 (a) 参加申込書-1(振込合計表・競技者名簿)に必要な事項を記入し提出すること。
 (b) ヘルムスマンと艇は固定して登録するものとし、同じ大学の登録した選手間でクルーが交替することを認める。
 (c) ヘルムスマンが、大会途中で登録した艇のヘルムスマンでなくなった場合、その艇は個人戦としては全レースにおいてオープン参加艇として取り扱うものとする。
 (d) 所属大学が異なる競技者での登録は認めるが、オープン参加艇とする。
- (2) 団体戦への申込み
 (a) 個人戦への申込みを済ませた艇が参加できるものとし、各クラス同じ大学の3艇で1チームとする。チームを編成する3艇は参加申込書-1にて予め特定すること。
 (b) 2艇又は1艇での団体戦への参加は認めない。
 (c) 1大学で3艇以上が個人戦にエントリーした場合でも、申込みがない場合は団体戦に参加したことにならない。(団体戦への申込みは任意とする。)
 (d) 同じ大学で、各クラスに2チーム以上申込みすることを認める。ただし、同じ艇が複数のチームに登録(エントリー)することは認めない。
 (e) 登録したチーム内でヘルムスマン・クルーの交替は自由とする。但し、ヘルムスマンが交替した場合は3.2(1)(c)のとおり個人戦としては全レースにおいてオープン参加艇として取り扱う。
- (3) 参加申込書-1は8月22日(火)中にeメールに添付し送付するとともに、参加申込書-1に以下を添付し郵送する。
 (a) 参加申込書に記載した競技者全員の『2017年度(公財)日本セーリング連盟メンバーカード』の写し
 (b) スポーツ安全保険の『保険証書』の写し(参加申込書に記載した競技者の名前が記載されたもの)
 (c) (a)及び(b)は、既に実施済みの当連盟主催の公式戦で提出済みの競技者の分については添付不要とする。
 (d) 郵送先：平成29年度 関西学生ヨット連盟委員長：岡竹 諒也
 (e) メール送付先

平成29年度	役職	氏名	PCアドレス	その他アドレス
関西学生 ヨット連盟	①委員長	岡竹 諒也		
	②副委員長	藤田 雄也	kansai-yacht.kaikei@outlook.jp	
	③事務局長	廣島 伸一		

- (4) 参加申込書-2(支援艇・応援艇 許可申請書)は、登録・受付時に提出すると同時に、備え付けの「支援艇・応援艇登録リスト」に必要な事項を記入し、施設利用料を大会期間中を含め、陸揚げする艇は日数×920円、しない艇は日数×2700円を支払うことで、登録・受付を完了する。
- 3.3 期日を過ぎてからの参加申込みについては「レイトエントリー扱い」とし、平成29年8月28日(月)17時までに限り、所定の参加料に対し50%のペナルティーフィーを支払うことを条件に参加を認める。
 平成29年8月28日(月)17時を過ぎてからの参加申込み(書類の不足又は不備を含む)及び競技者の追加登録は認めない。
- 3.4 参加申込書-2(支援艇・応援艇 許可申請書)の内、応援艇許可申請書については、大会期間中に陸上本部に提出することで申請を認めることがある。
- 3.7 参加申込締切後の競技者の変更
 (1) 参加申込締切後の競技者の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、書面により平成29年度 関西学生ヨット連盟委員長：岡竹 諒也宛に提出しなければならない。(様式事由)
 (a) 提出期限：9月2日(土)08:30まで
 (2) 上記の期限以降、また疾病、傷害等の特別な場合以外に競技者の変更を希望する場合は、速やかに陸上本部に届け出て、許可を得た場合に変更が可能となる。ただし、その場合は当該艇・チームはオープン参加の扱いとなる。

4. 参加料

- 4.1 参加料等は次のとおりとする。
 (1) 参加料：・個人戦：1艇 5,000円 ・団体戦：1チーム 3,000円 (識別番号代は不要)
 (2) 施設使用料：1艇 920円/日(税込) ※9月2日(土)～9月3日(日)は不要。
- 4.2 振込期日：8月22日(火)午前中
 期日を過ぎてからの振込みについては「レイトエントリー扱い」とし、平成29年8月28日(月)17時までの振込み
 に限り、所定の参加料に対し50%のペナルティーフィーを支払うことを条件に参加を認める。
- 4.3 振込先： ◎三井住友銀行 明石支店(普) 7045592
 口座名義： 関西学生ヨット連盟 会計 藤田 雄也 (カシガケイヨットレメイ カイケイ ジツケウ)

5. 【DP】艇

- 5.1 艇は、原則として自己所有艇とするが、競技者が手配したチャーター艇も認める。
5.2 国際スナイブ級の艇は、2017年度SCIRA登録を完了していること。

6. 【DP】セール

- 6.1 艇のセールには、レース委員会が準備した識別番号を、【添付図A】に示す位置に、メイン・セールの上部にスターボード側を上にして、重ならないように貼付けなければならない。
6.2 識別番号シール及び割当表は、登録(受付)時に配布する。
6.3 国際スナイブ級のジブの材質は最少160g/m²でなくてもよい。

7. 日程

- 7.1 登録・受付：9月1日(金) 13:00～15:00 (オープン参加艇専用9月2日(土) 8:00～8:20)
7.2 開会式：9月1日(金) 15:45～16:00
7.3 艇長会議：9月1日(金) 16:00～17:00
7.4 予定されるレース日程とレース数は次のとおりとする。

日付	9月2日(土)	9月3日(日)	合計
国際470級	4 レース	4 レース	8 レース
国際スナイブ級	4 レース	4 レース	8 レース

- 7.5 9月2日(土)は、5レースを行うことがある。
7.6 最初の国際470級の予告信号の予定時刻は9月2日(土)は09:45、9月3日(日)は09:25とし、国際スナイブ級はこれに続く。
7.7 9月3日(日)は13:00より後に予告信号を発しない。
7.8 表彰式、閉会式は実施しない。

8. 【DP】計測

艇は、使用する艇の艇体に関する有効な計測証明書(470級はMEASUREMENT FORMも含む)を登録(受付)時に提示しなければならない。

9. 【DP】登録(受付)

艇は、大会本部で次の書類を提示し、登録を完了しなければならない。

- (1) 競技者の『(公財)日本セーリング連盟会員証(原本)』。
- (2) 監督・コーチの『(公財)日本セーリング連盟会員証の原本又はコピー』。
- (3) 支援艇、応援艇の艇長の『2017年度(公財)日本セーリング連盟会員証原本又は写し』。
- (4) 国際470級は、『Measurement Certificate including Measurement Form(MC/MF)(原本)』。ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え『計測登録証明書(原本)』も提示しなければならない。
- (5) 国際スナイブ級は、『計測証明書』及び競技者の『SCIRA登録会員証(原本)』又は日本スナイブ協会各水域フリートキャプテンが発行する『平成29年度SCIRA登録証明書(原本)』。

10. 帆走指示書

- 10.1 帆走指示書は、8月26日(土)中に関西学生ヨット連盟ホームページで公開する。
10.2 帆走指示書に対する質問は、8月31日(木)中に大会事務局に送付すること。
◎ 大会事務局連絡先：平成29年度 関西学生ヨット連盟委員長：岡竹 諒也 (参加申込み先と同じ)
10.3 質問に対する回答は、原則として公式掲示板に掲示する。

11. **開催地** 【添付図B】に、レース海面、大会ハーバーのおおよその場所を示す。

12. コース

- 12.1 トラペゾイド・コースを使用する。(第3・第4マークはゲートマーク。オフセットマークは設置しない。
12.2 レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す見取り図、および帆走すべきコースを示す文字は、帆走指示書で指定される。

13. 得点

- 13.1 大会が成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
13.2 個人戦の得点
各クラスとも、実施された全てのレースの得点の合計とし、より得点の低い艇を上位とする。これは規則A2を変更している。
13.3 団体戦の得点
(1) 種目別の得点は、チーム3艇の実施された全てのレースの得点の合計とし、より得点の低いチームを上位とする。
(2) 総合の得点(両クラスに出場した大学チーム)は、種目別の得点(2チーム以上出場した大学は最も得点の低いチーム)の合計とし、より得点の低い大学を上位とする。
13.4 参加艇数は、そのクラスに登録(受付)を済ませた艇の数とする。
13.5 艇は、掲示されたレース又はシリーズの成績結果の中に誤りがあるとして訂正をレース委員会に要請することが

できる。この場合、艇は陸上本部に用意されている『得点照会要請書』に所定の事項を記入しなければならない。

14. 安全規定

出艇申告、帰着申告方式を採用する。

15. 【DP】支援艇・応援艇

15.1 支援艇と応援艇の区別

(1) 支援艇：

監督、コーチ又はその指示する者が乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属する競技者又は艇に対し、以下の支援ができる。

- (a) 競技者へのアドバイス、応援。
- (b) 艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。
- (c) 飲料水、食事の競技者への供与、ゴミの引き取り。

(2) 応援艇：

レースの観覧・応援専用のエンジン付きボート及びクルーザーで、競技者又は艇への援助は原則一切できないものとする。

- (a) 競技者へのトイレの供与は認める。その場合でもトイレ使用に関すること以外で競技者と接触することは禁ずる。
- (b) 他校との共用は認められる。

15.2 支援艇・応援艇を持ち込む場合は、「参加申込書-2」（支援艇・応援艇許可申請書）を受付時に提出しなければならない。支援艇・応援艇には、受付時に「支援艇・応援艇許可証」が発行され、レース委員会から識別旗が貸与される。

15.3 支援艇・応援艇は、水上において常に識別旗を掲揚するとともに、「支援艇・応援艇許可証」及び帆走指示書に記載されるレース委員会からの指示事項を守らなければならない。

15.4 レース委員会艇に『数字旗8』が掲揚された場合、支援艇・応援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

15.5 レース委員会の指示に従わなかった支援艇・応援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇・応援艇に関わる艇に対してプロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。

15.6 応援艇のみ参加申込み期限後の追加登録を認めるが、できる限り事前に登録すること。

15.7 支援艇・応援艇はレース中であるにかかわらず、常に一般船舶の動きに目を配り、一般船舶の航行を妨げてはならない。

15.8 支援艇・応援艇は、ハーバー内においては、引き波を立てないようにデッドスローで航行しなければならない。

15.9 支援艇・応援艇の乗員、および支援者は、水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に変えたり整えたりする場合を除き、個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。また故意、不注意を問わず、水中にゴミを捨ててはならない。

16. 賞

16.1 個人戦は、各クラス第1位～第3位の艇に賞品を与える。（賞状は付与しない）

16.2 団体戦は、種目別及び総合の第1位～第3位の大学チームに賞状を、また種目別及び総合の第1位の大学チームには賞品を与える。

16.3 各クラス各レースの1位の艇にトップ賞を与える。（トップ賞はオープン参加艇も賞の対象とする。）

17. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物的損傷又は人身傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負わない。

18. 大会期間中の競技者の肖像権

本大会期間中の艇、競技者に関連する写真・ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。

19. 問い合わせ先

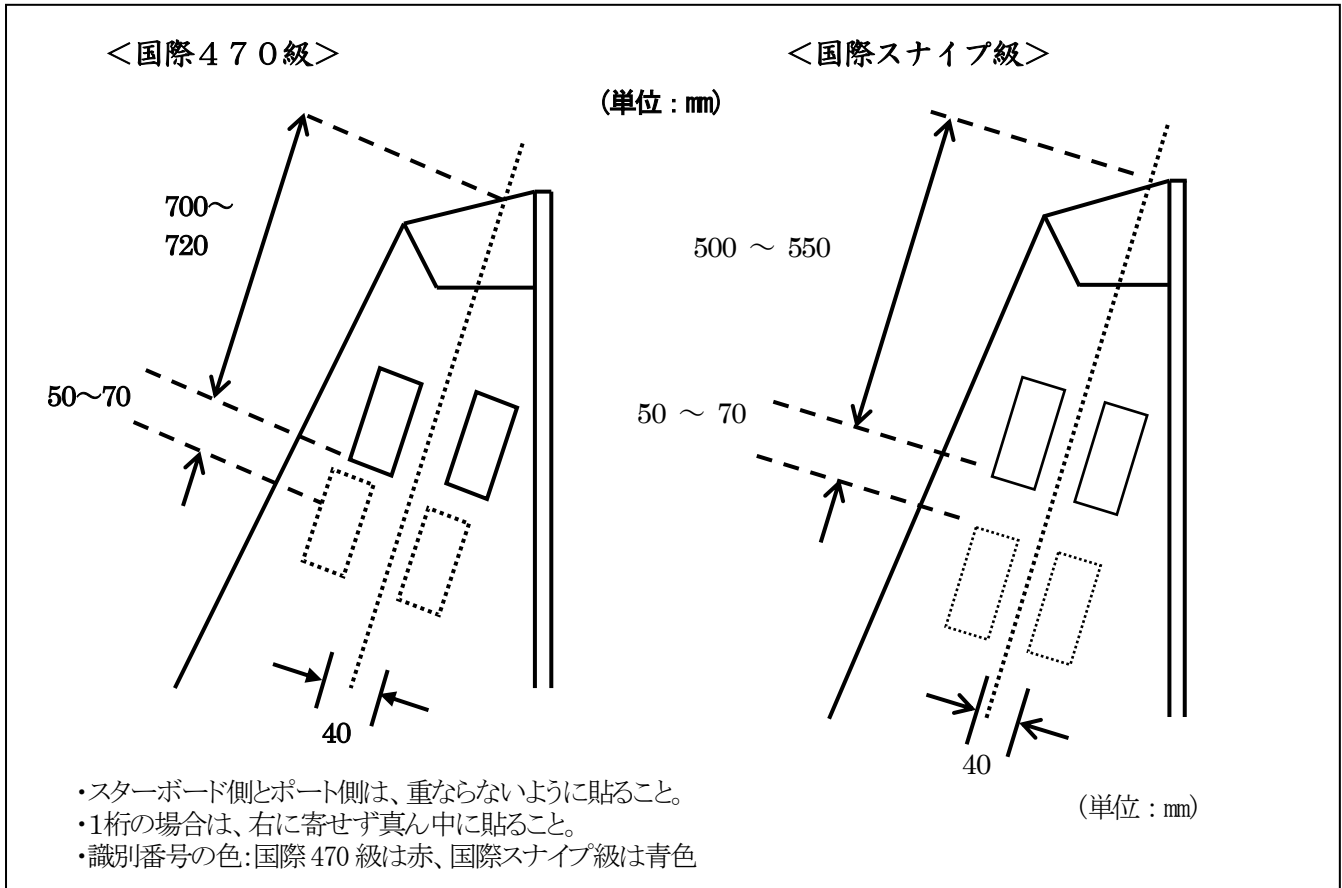
本大会に関する問い合わせ先は、以下のとおりとする。

- ◎ 平成29年度 関西学生ヨット連盟 委員長：岡竹 諒也(参加申込み先と同じ)

20. 追加情報

9月1日(金)は13:00以降の出艇を禁止する。

【添付図A】 識別番号 貼付位置



【添付図B】 レースエリア、大会ハーバーのおおよその場所

